

PICK UP 授業

システム生体工学科では、最新設備を誇る新実験棟において行われる医療や福祉工学に関連した体験型のプロジェクト授業が充実しています。

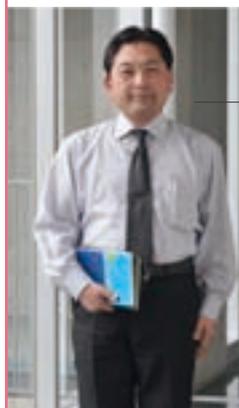


プロジェクトIII B

プロジェクトIII Bでは、システム生体工学科の専門科目で必要となる確率統計・電気数学・論理回路の実践的な力を演習によって修得することを目的としています。2年次以降で受講する専門科目の理解を助けるとともに、レポートによって自ら問題解決ができる能力を身に付け、数学や論理回路を研究の道具として使いこなせるように演習を進めています。数学や電気が苦手な学生も、丁寧な解説や課題を通じて数学や電気の素養と実力が付くようになります。

応用プロジェクトII

応用プロジェクトIIでは、学生自らが製作した心電計を利用して心電図の解析を行います。病院で利用されている心電計は、患者の心電図を自動で解析して心疾患を判定することができます。授業では、このような心電図の解析に必要なとされる計測技術、信号処理技術の習得を目的とします。心電図から特徴的な波形を自動で抽出するプログラムを開発し、得られたデータを解釈する力を身に付けることができます。



Teacher's Voice

◀システム生体工学科  
本村 信一 講師

システム生体工学科は、生体というキーワードを通じて医学の基礎や脳科学、電子情報工学、機械工学やプログラミングなど幅広い分野を学ぶことができる学科です。そのため楽な学科ではないかもしれませんが、社会で活躍できるエンジニアになれる力を身に付けることができます。是非一緒に学んでいきましょう。



Teacher's Voice

◀システム生体工学科  
小田垣 雅人 准教授

システム生体工学科は医科学の基礎と工学の幅広い知識を得ることができる学科です。学問領域が多岐にわたるため、4年間は勉強に費やす時間が多くなり大変と感じることもあるかもしれませんが、しかし日々の努力を欠かさずに、有意義な大学生活を過ごしてください。社会で活躍できる人材になれるよう全力でサポートします。

将来について

取得可能な資格

- 第2種ME技術実力検定
- 基本情報技術者

卒業後の主な進路

- 本学または他大学の大学院進学
- 医療・精密機器関連企業
- 情報通信関連企業 ほか